月刊 あなたにこの本を！ 平成24年6月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。

…字が大きめ　…中高生にも　…図・写真が多い

※価格のあとの（ ）内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。

イマドキの野生動物
ー人間なんて怖くない：写真ルポー

宮崎　学　著
農山漁村文化協会　2520 円
(0012470179)

ジャンル ： 自然・環境を考える

半世紀近く日本の人と自然をテーマに写真を撮り続けてきた著者が、野生動物の現状を写真で伝える。連日連夜、遊歩道に現れるツキノワグマや繁華街で生ゴミをあさるアライグマなど、想像以上に人間の生活圏に迫る彼らの姿に驚かされる。外来動物の勢力拡大や農作物への被害など、増え続ける獣害を食い止め、人間と野生動物が共存するにはどうすればよいのか。野生動物との緊張関係を取り戻さなければならないという著者の提言に耳を傾けたい。〔482〕

京都洋館ウォッチング

井上章一　著
新潮社　1680 円　(0012407893)

ジャンル ： 歴史・文化に親しむ

京都に生まれ育った建築史家の著者が、京都の近現代建築を案内する。京都タワーと駅ビルを「景観問題の悪役である両巨頭」と呼びながらも、「時の流れをへて、まもるべき文化財になりおおせる」と未来の姿にも想いをはせる。三条通りに建ち並ぶレトロモダンなビルから、街角の裸婦像まで独自の切り口で取り上げ、同時に建築史の流れについてもわかりやすく解説する。著者ならではの苦味の利いた絶妙な語りにひきこまれ、実際の建物を見に行きたくなる。〔521.6〕

待ってました名調子！

国本武春　著
アールズ出版　1890 円　(0012440137)

ジャンル ： 暮らしにうるおいを

浪曲師の息子ながら浪曲を知らず、ギター、演劇、落語と挫折し続けて著者は浪曲にたどりついた。何を言っているのかわからなかったが、ちょっと待てよと聞き続けるうちに虜になり、浪曲師となった。本書では、著者自ら生い立ちや、憧れの師匠との思い出、浪曲の基礎知識について語る。また付属CDでは、数々の名場面を著者がうなり、かけ声のかけ方まで指南する。「浪曲ってけっこうイケてる～！」と、実際に聞きに行きたくなる格好の入門書。〔779〕

住み開き　ー家から始めるコミュニティーー

アサダワタル　著
筑摩書房　1575 円　(0012431966)

ジャンル　：　大阪にゆかりの本

家の一部を地域に開く「住み開き」を提唱する著者が、東京、大阪の様々な事例を取材し紹介する。「住み開き」には、自宅開放型の子育てサロン、洞窟博物館、カフェなどがあり、それぞれが個性にあふれている。水曜や午後だけ開放するなど、開きっぱなしとは違い、少し開くことで生まれるコミュニティが他者との「第三の縁」を結ぶと著者は言う。地域との関係が希薄な社会において、様々な形でつながっていく新しいスタイルに注目したい。〔361.43〕

きもの名人

近藤富枝　著
河出書房新社　1995 円　(0012469201)

ジャンル　：　知識・教養を深める

幼いときからきものに親しみ、90 歳の節目を迎える著者が、きものの魅力を多方面から綴った。「きものを見る、読む」の章では、古典に通じた文学者の著者らしく、源氏物語や俳句、上村松園の絵などを縦横に引用してきものを語る。終章では竹久夢二や花柳章太郎らきもの名人を紹介している。きものの生き字引のような著者が語るとき、きものには歴史や生活の風景が分かちがたく絡まっていることが分かり、美しいだけでない奥深さに目を見張らされる。〔593.8〕

第九　ーベートーヴェン最大の交響曲の神話ー

中川右介　著
幻冬舎　882 円　(0012410504)

ジャンル　：　知識・教養を深める

ベートーヴェンの交響曲第九番は、時代や国境を越え人々に愛されている。誕生当時の技術では演奏が難しく、長大で異質な曲として不人気だったが、優れた指揮者たちの熱意により真価が認められ、名曲として受け継がれてきた。著者は、第九の誕生から世界記録遺産登録までの歩みを、膨大な資料から丹念に拾い上げた。CDの録音可能時間が第九の演奏時間に合わせて決定されたことなど、多彩で驚くべきエピソードが満載で、改めてこの楽曲を聴きたくなる。〔764.3〕

われ敗れたり　ーコンピュータ棋戦のすべてを語るー

米長邦雄　著
中央公論新社　1365 円　(0012452290)

ジャンル　：　生き方・考え方に学ぶ

元名人で永世棋聖の著者は、第1回将棋電王戦で最強のコンピュータ将棋ソフトと対戦し、敗れた。ソフトとの模擬戦や詰将棋などの地道な勉強、本戦での出来事など、勝負の裏側を、将棋をよく知らなくても分かる平易な言葉で明かす。次々と対策を練る様は、さながら棋戦のようであり、引き込まれる。圧倒的な記憶力と計算力を持つ機械に挑むのも、その機械を開発するのも人間である。著者の味わう喜怒哀楽を通し、人間とは何か、考えさせられる。〔796〕

グリフィンとお茶を　ーファンタジーに見る動物たちー

荻原規子　著、中川千尋　挿絵
徳間書店　1575 円　(0012453586)

ジャンル　：　暮らしにうるおいを

『空色勾玉』などで知られる児童文学者の著者が、今までに感銘を受けた本のなかから心ひかれる動物の物語について紹介する。『ジャングル・ブック』のニシキヘビの知恵者カーや、『最後のユニコーン』に登場する美しい乙女に変身したユニコーンなど、どの動物もそれぞれに魅力的で存在感がある。自分の一生の疑問は「ファンタジーとは何か」であるという著者が解き明かす物語の世界に引きこまれていく。本書を手引きに、本が持つ豊かな力を味わいたい。〔902.3〕